



# 泌尿器科領域のロボット手術①

弘前大学大学院医学研究科 先進移植再生医学講座

准教授 米山 高弘

## はじめに

皆様、こんにちは。弘前大学泌尿器科の米山と申します。よろしくお願ひいたします。今回は、ロボット手術についてお話をさせていただきまます。私は泌尿器科医ですので、泌尿器科のロボット手術のお話が中心となります。

弘前大学医学部附属病院では、2011年に東北・北海道では最初となるロボット手術を導入し、青森県の皆様にいち早く最先端の医療をお届けしてきました。現在まで泌尿器科だけでも1,000人以上の患者さんが、ロボット手術を受けられています。

ロボット手術が保険で治療を受けられるようになったのは10年前の2012年で、前立腺がんに対する手術が最初でした。その後、膀胱がんや腎臓がん、消化器のがん、婦人科のがんなど、そして今年になつて多くのがんで手術が受けられるようになり、急速に普及しています。現在、全国では500台近いロボットが稼働しています。

## ロボット手術の特徴

実際の医療現場で使われているのが、「ダ・ヴィンチ(d a Vinci® サージカルシステム)」です(図1)。これま



## 図1 ダ・ヴィンチ



図1 ダ・ヴィンチ



図1 ダ・ヴィンチ

